

県立船橋特別支援学校を訪問

楽しい授業やきめ細かな給食 校舎は修繕が急務の箇所も

5月18日、県立船橋特別支援学校を訪問して、授業の様子や校舎などの状況を見ました。

船橋特別支援学校は身体障害や重複障害の子どもたちが



普通食からペースト状まで5段階の給食について説明を受ける。

県立船橋特別支援学校



プレハブ倉庫は天井が垂れ下がり壁が落ち鉄の柱が折れている。

県立船橋特別支援学校



校舎屋上防水シートは固く波打ち雨漏りの危険性が大きくなっている。

県立船橋特別支援学校

ポンポンを持って振ったりと楽しそうに授業を受けていました。

給食は普通食から徐々にペースト状にした5種類が作られ、それぞれの子どもたちに合せてきめ細かく提供されています。

職員室・会議室にエアコン無し

今年度の訪問では、校舎や施設の状況についても調査しました。

昨年度、学校から県教育委員会に出された「ガス漏れの危険があるガスの老朽化対策」「雨水の浸入で階段が水浸し」「送迎バス乗降場の舗装に段差」などの要望は予算が付き改善されました。

一方で、「トイレの数が足りず、子どもたちの体調管理や授業などに支障を来すようなことのないように、早急な改善が必要です。」

商店街の維持めざし努力と支援

地域では、商店街を中心に聞ききました。

クリーニング店では「大手の取り次ぎ店より料金は少し高いけど、お客さんは『ほんとに白く洗ってくれる』『取れないシミも取ってくれる』と言って来てくれる」と話します。

地域との交流や結びつきでも、「ボタンが取れた」と言って店に駆け込んできたお客さんのボタンをつけてあげるなど、顧客の要求に応える、そのための技術水準を上げる、常に研究する姿勢を欠かさない、などが大事だと話していました。

また店のある商店街が街



畳店を話し聞き畳を縫う機械を見る丸山慎一県議

5月8日・千葉市内

おかげさまで「がんばり通信」400号



毎月2回発行の「がんばり通信」が400号となりました。これもみなさまに支えていただいたおかげです。第1号（上の写真）の発行は、船橋市で日本共産党の県議が2議席になった直後の1997年4月13日。もう一人の県議は渡辺素子さんでした。当時はB4版片面で、ワードプロセッサで作り、感熱紙に印刷して、そのまま印刷所に運んでいたのが様変わりです。今後とも、よろしくお願いいたします。